



# 学生団体 FORCE

～こどものまちプロジェクト～

「miniにしはら」  
を  
開催したい!!

# 学生団体FORCEとは？

琉球大学の学生 15名で活動している  
学生団体です

コンセプト

“こどものこどもによる  
こどものための街づくり”

メールアドレス : [force.ryukyu1126@gmail.com](mailto:force.ryukyu1126@gmail.com)

# 活動内容

「miniにしはら」開催についての話し合い



市民性を  
育む

主権者教育とは

社会認識  
を深める

主権者教育を通して  
育成される能力

政治的有効性  
感覚

合意形成能力

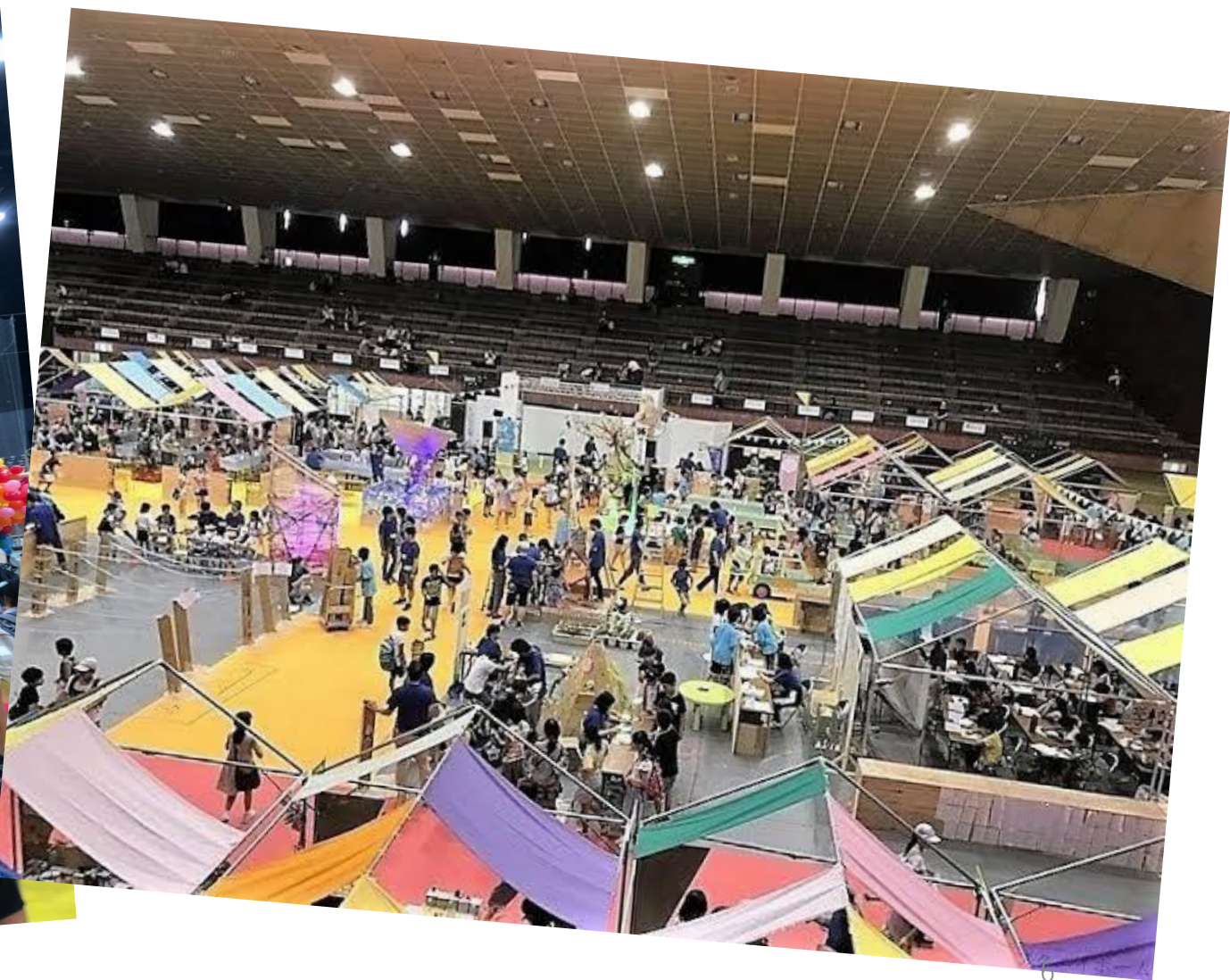
コミュニケー  
ション能力



## ミニミュンヘン

- ドイツで行われている子供の町です
- この町では選挙が行われ、子供の中から市長が選ばれます。

# 日本の「こどもの町」



## 「miniにしはら」 の概要

- ・ 立法・首長・税金・公共サービスなどの要素を含めた体験型学習

対象...西原町周辺に住んでいる小中学生

場所...西原町公民館

期間...事前学習 10月下旬～2月上旬

当日 2月11日～13日（3日）

# 事前学習の内容

## 人権学習

- 子どもの人権規約について
- 身近な政治的論争について など

## 経済

- お金の単位や税金の種類について決める。

## 選挙について

- 「miniにしはら」町長選挙を行う



# 子どもスタッフの流れ

10月から毎週事前学習を行っています。

## 事前学習

子ども  
スタッフ

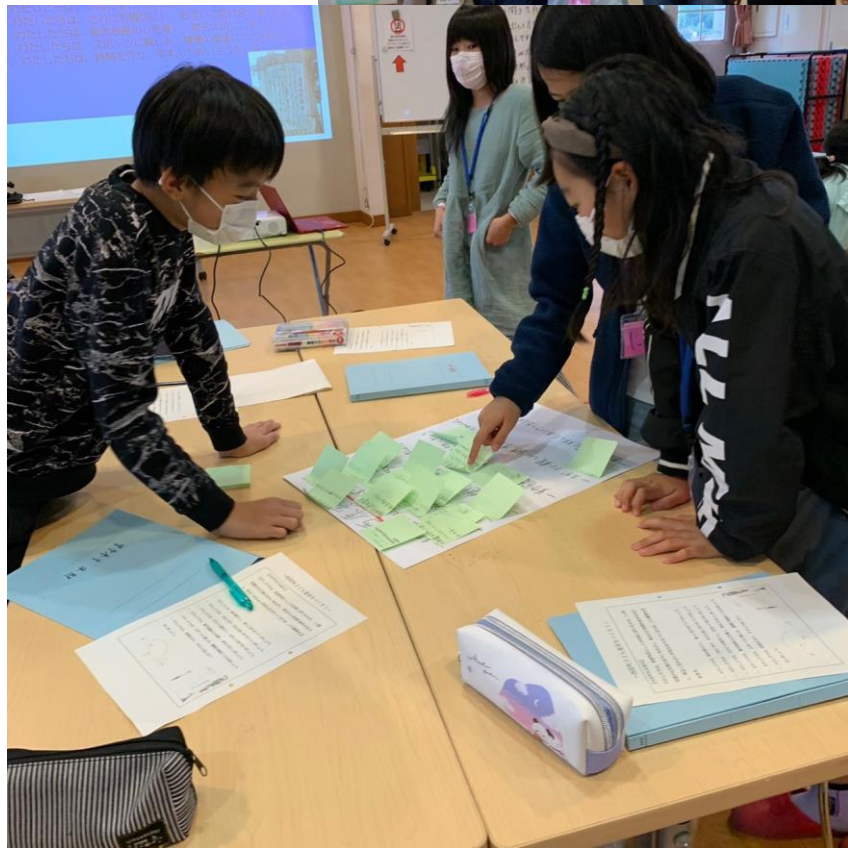
事前学習  
(町のつくり方について学ぶ)

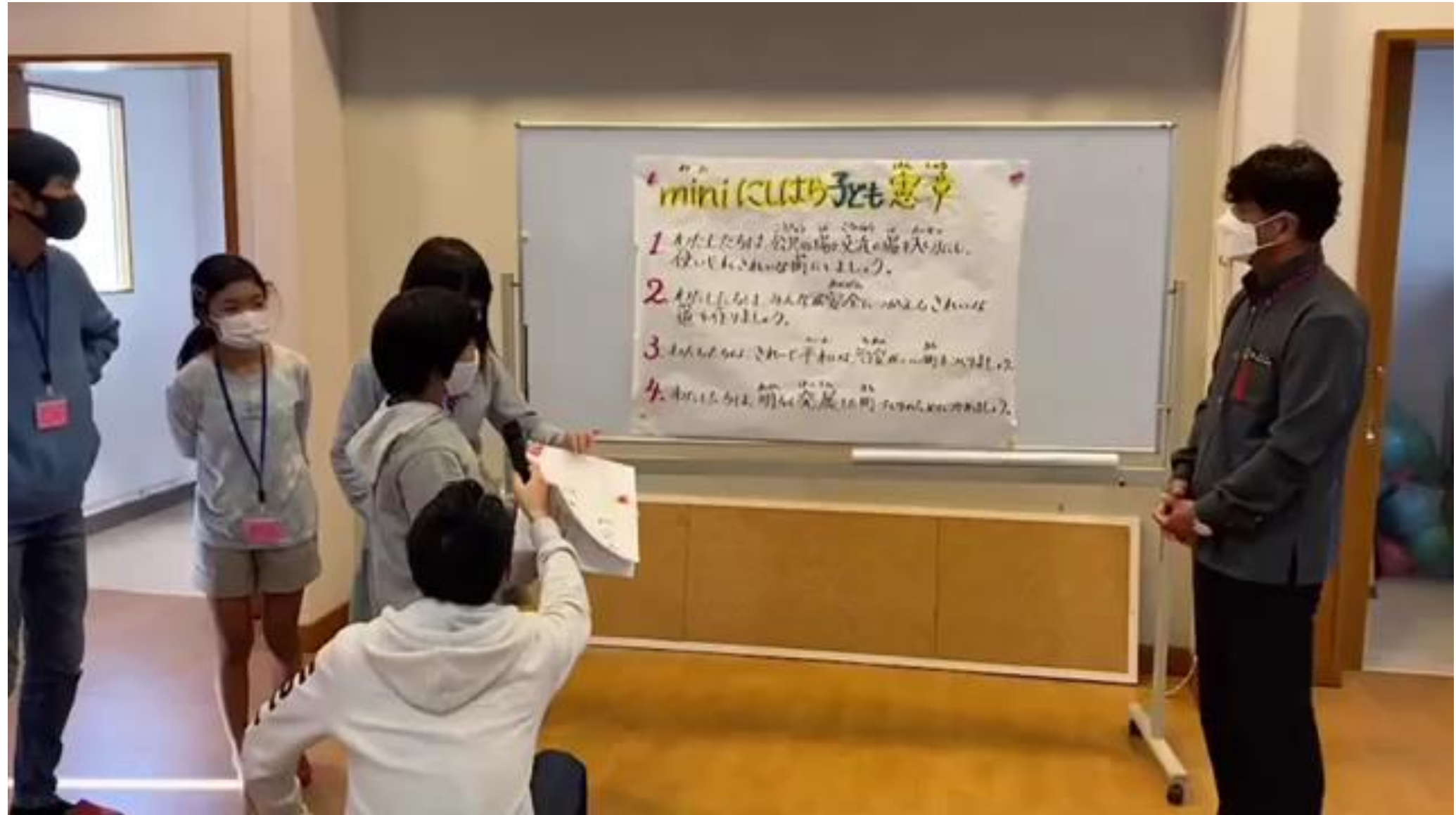
町長選挙  
(被選挙権)

仕組みの決定

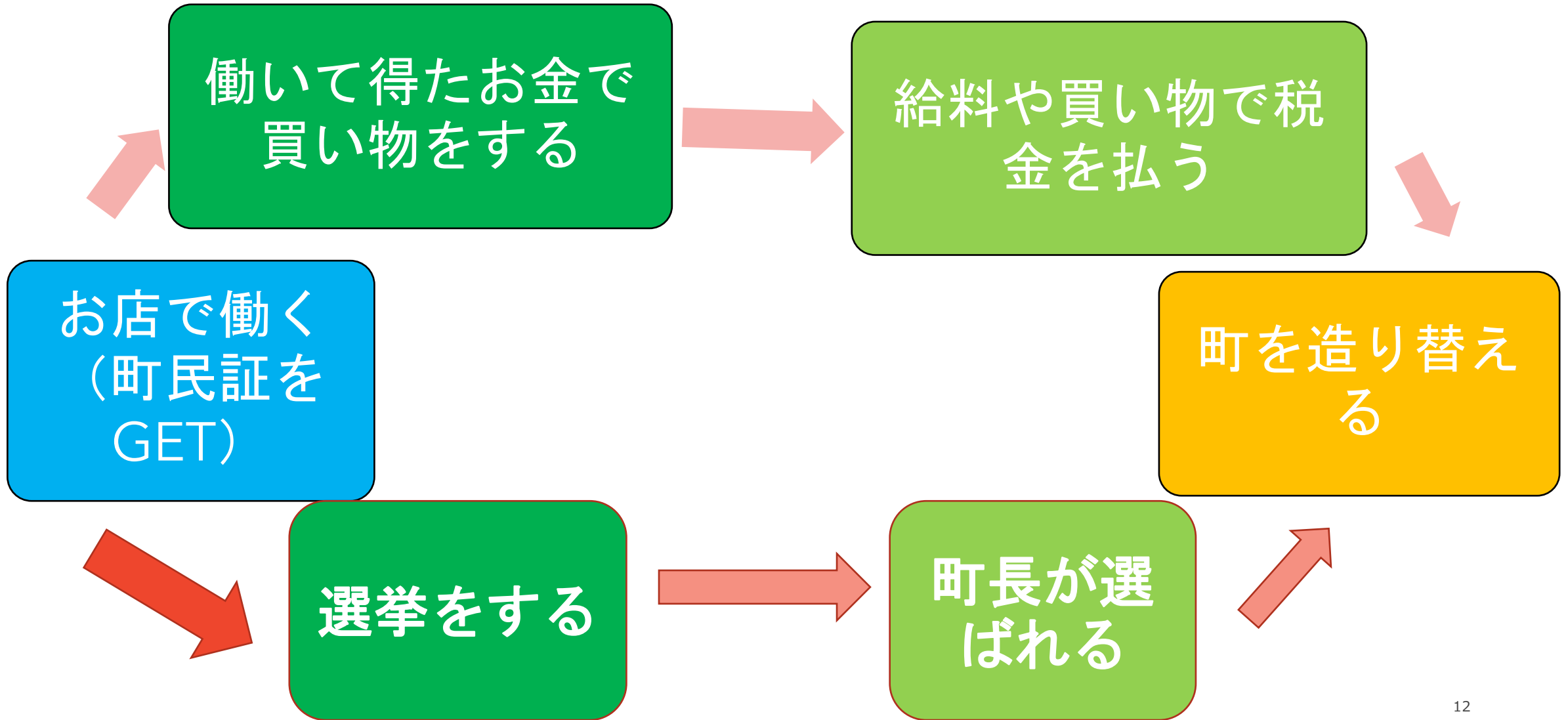
憲章・ルール

# 事前学習の様子





# 当日の流れ

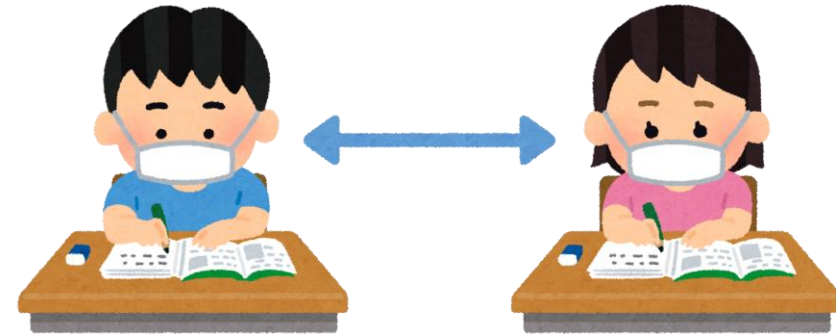


# 子どもの募集方法

- 子どもスタッフ（小学5年～中学3年の15名程度）  
西原町近辺に在住している子どもたちに対し、応募フォームを作成し募集
- 当日参加の子ども（小学生のみ、100名程度）  
近隣の市町村に対し、子どもスタッフ同じように募集

# コロナ対策について

沖縄県新型コロナ予防ガイドラインに  
即して行う



緊急事態宣言等が出された場合は  
zoomなどのオンラインを用いる



# 予算

必要な経費→ 140万円

- ・クラウドファンディング
- ・企業への協賛の呼びかけ

The image shows a crowdfunding page for 'mini西原' (mini Nishihara). The title is 「こどものこどもによるまちづくり」 (Town Building by Children for Children). The organizer is 学生団体force (Student Group force). The event dates are 2021年8月7日(土)、8日(日)、9日(月) (August 7th (Sat), 8th (Sun), 9th (Mon) 2021). The page shows a progress bar at 100% and 108 supporters. The goal amount is 800,000円, and the current amount is 803,555円. The page is in Japanese and includes a photo gallery of the event.

「こどものこどもによるまちづくり」  
mini西原

主催 ▶ 学生団体force  
日時 ▶ 2021年8月7日(土)、8日(日)、9日(月)

【こどものこどもによるこどものためのまちづくり】miniにしはらを開催したい！！

FORCE\_ryukyu まちづくり・地域活性化

¥現在の支援総額	目標金額
803,555円	800,000円
100%	
支援者数	募集終了まで残り
108人	終了

15





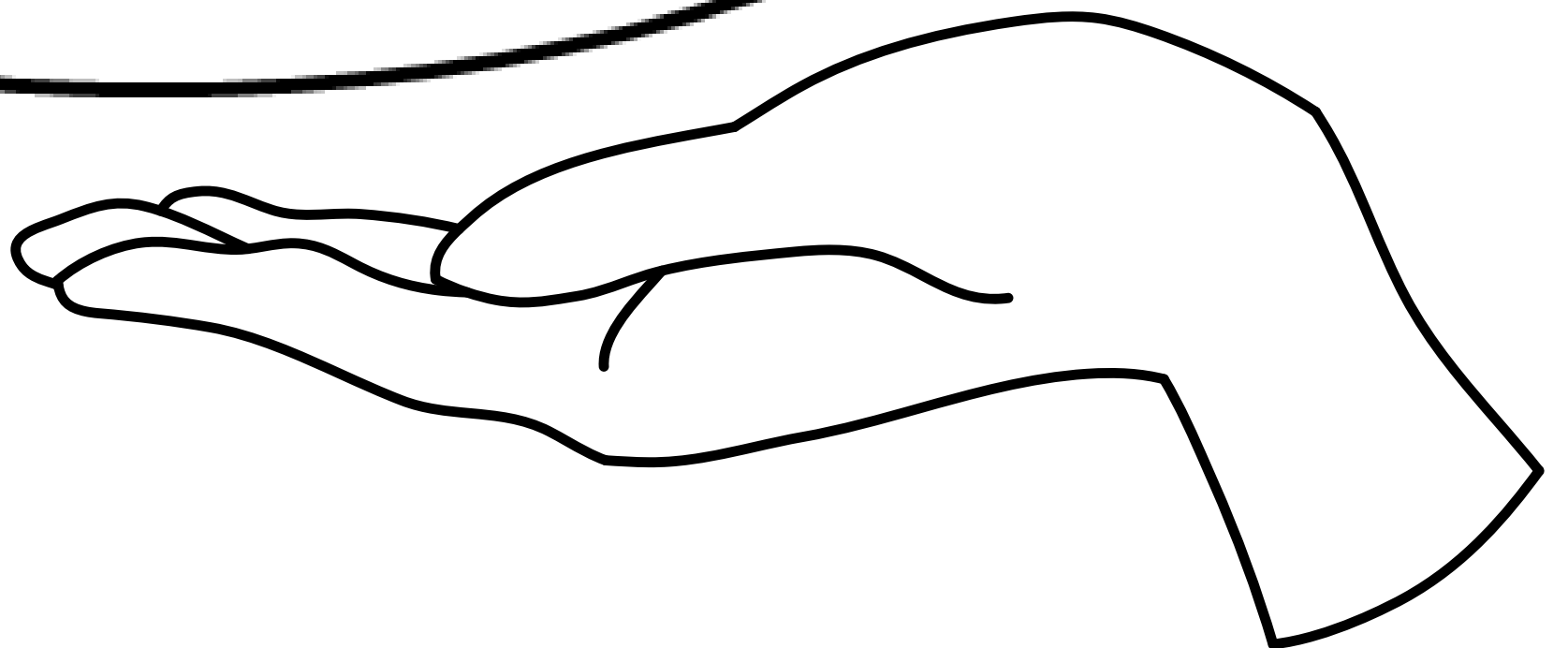
# miniにしはら

子どもによる  
子どものための  
まちづくり

## miniにしはらとは

子ども達自身が理想のまち  
について考え実際にお店を  
出して働き、得たお金で  
消費活動を行ったり、  
まちの町長を選ぶなどの  
体験活動を行います。

**！大人は口出し禁止です！**





### 募集要項

(開催期間) 2月11日～2月13日

(開催時間) 10時～17時

※13日のみ12時まで

(開催場所) 西原中央公民館

☆ 3日間連続参加もオッケーです

(対象学年) 小学校1年生～6年生

(定員) 1日100名

(参加費) ¥300

(連絡先)

force.ryukyu1126@gmail.com

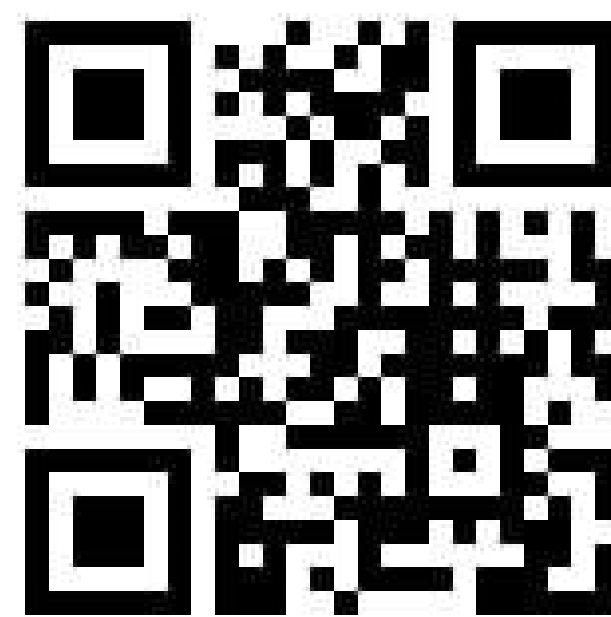
(申し込み締め切り) 1月29日まで

(申し込み方法)

☆申し込みは右のQRコードから  
お願いします

miniにしはらについて  
詳しくはこちら!

HP QRコード



申し込み QRコード



学生団体 FORCE

# 「mini にしはら」企画書

こどもの街計画「mini にしはら」について

代表 小渡 宇翔 平良 海聖

令和3年6月15日

この企画書は、令和3年6月ごろに書かれたものであり、新型コロナウイルスの関係により、日時や人数が正確ではないところもあります。概要などにはほとんど変更点はありません。

こどもの街計画について

「mini にしはら」

学生団体 「FORCE」

わたしたち学生団体 FORCE は、体験型主権者教育イベントを開催したいと考え発足された琉球大学の学生 15 名で構成されている学生団体です。毎週金曜日に週一回程度集まって、「mini にしはら」をどうしていくかについて話し合っています。

## 0・スローガン・理念

「こどものこどもによるこどものためのまちづくり」

・地域に根ざした ・こどもの主体性 ・政治的有効性感覚

## 1・主権者教育（市民性教育）について

・主権者教育はシティズンシップ教育とされ、こどもたちが市民として、社会を形成する主体としての意識をもち、権利の構造や社会認識について知覚し、深める活動を通して、市民的資質の向上を図る。

・民主主義社会において、他者の意見と自分の意見を話し合い、そのうえで合意形成を図り、何かを生み出すという過程を通して、社会や政治の構造について自分たちの経験から主体的に考える能力を育成する。

・主権者教育はシティズンシップ教育や政治教育もちろんだが、キャリア教育とも深くかかわる。「mini にしはら」では、職業体験や消費行動を通して、自分の将来について考え、職業と社会の深いつながりについて気付くことを目的とする。

## 2・計画に対しての意義

近年 18 歳選挙の導入などこどもの社会参加が行われるようになってきている。その中、多くの市町村において、ミニミュンヘンを模範としたこどもの街が盛んに開催されており、こどもが社会について考える機会を提供している。しかし、沖縄県ではそのようなこどもを主体とした社会づくりは行われていない。そのため沖縄県においてもこのような取り組みの中で、こどもの社会認識や社会参画を行い、こどもたちの市民的資質を育む必要がある。沖縄県は、日本の中でも特異な状況にあり、基地問題や貧困など社会的問題が多く潜んでいる。現在の沖縄では、このような社会問題について自分事として考えることができていない。それは、こどもたちにもいえる。現在の学校の教育では、教室の中で完結してしまう教育が多く、政治的有効性感覚を生み出すことが充実していない。また、学校で行われる教育では、教師の意図を組み、教師が求める生徒像にこどもがなろうとしてしまい、自由な価値判断、意見形成が生まれづらい状況がある。

18 歳選挙の導入に際し、実際に選挙権を得て、社会に参画できるようになったのは

高校生である。現在の学校教育における主権者教育は高校生になって初めて、模擬選挙や選挙についての学習を行う。しかし、そのような教育ではただ選挙に行くことの重要性のみに焦点があてられ、自分たちが投票し、社会を変えるという意識には結びつかない。中学校、高校の自治的活動といえる生徒会選挙、生徒会活動も形骸化しており、こどもが自分の手で社会を変えることができるという実体験が現在の学校教育では行われていない。高校生になる前の、小学校高学年、中学生の段階で模擬的であれ、自分で街を作り、街を変えていく体験を行う事で、高校生になり、選挙権を得たときに主体的に社会に参画できる主権者となることができると考える。

このような現状を踏まえ、今回計画している「miniにしはら」では、学校外でこどもが主体となり街を作る活動を通して、自分の意見を自由に考え、表現する場を提供する。また、自ら街を作る活動の中で、自分の意見が社会に反映され、社会が動いていくという感覚を得ることで、政治的有効性感覚を生み出すことができるだろう。このような疑似的な社会形成、社会参画を行うことで、プログラム後も現実の社会問題について主体的に考える能力を育むことができると考える。

### 3・「miniにしはら」

こどもが主役となり実際に街を運営する体験活動「miniにしはら」という活動は、ドイツのミュンヘン市で1986年から隔年で行われているミニミュンヘンをモデルにした、こどもだけの街である。この街はこども達が実際にお店を出し、商品を売り、売ったお金で買い物をするといった消費活動や、町長を選ぶためにその公約と自分の考えをすり合わせ、選挙を行うといった活動、自らのまちをよりよくするためにはどのようなことが必要なのかを考える場である。日本では、ミニ福岡やミニさくらなどの「こどもの街」が行われているが、これらのこどもの街は消費者教育やキャリア教育の面が強い。「miniにしはら」では、その中に行政や立法、首長、税金、公共サービスなどの要素を入れることで、社会認識を深め、政治に関心を持ちながら、こども達が自分の将来について考える機会にしたい。

### 4・わたし達が考える「miniにしはら」の目標

- ・こどもが主体的に街づくりに取り組むことで、学校（教室）の中での閉じられた閉鎖的な意見から脱し、自分の価値に基づいた意見形成能力の育成を行う。
- ・こどもたちが自ら町を作り上げていく過程の中で、現実の社会と関連させ、比較し、自分なりの社会参画について考え、市民的資質を養えるプログラムを行う。
- ・プログラムを通して主体的に疑似的な社会参画を体験することで、現実の社会においても長期的な政治参加意欲を内面化させる。
- ・主体的な街づくりを通して他者との関係を持ち、それぞれの意見を提示し対話による合意形成を図ることで、多角的、多面的な判断力を養う。

## 5・開催期間

事前学習 5ヶ月（現在の計画では2021年10月～2月を予定）

「miniにしはら」本番 3日間（現在の計画では2月を予定）

事後学習（現在の計画では2月を予定）

## 6・「miniにしはら」の概要

まず、「miniにしはら」を開催する前の段階として、事前学習を設ける予定である。事前学習とは、平和教育、地域調査、政策判断等の学習を、こどもスタッフ20名程度の小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象に「miniにしはら」を進めていくリーダーとして、街づくりに必要なことを学んでもらう機会を作る。このような学習は、わたしたちFORCEの学生が授業案、教材作りを実施していく。街づくりにおけるコンセプトとして、私たちはコロナ禍における沖縄観光業の衰退化を受けて、コロナ禍の街をどのように発展させていくかなどの街設計を考えてもらいたいと思っているが、この点はこどもたちの意見を聞き、こどもたちで街の「コンセプト」を決めていく。地域調査や主権者教育、政策判断などの基礎的な社会認識の学習をした後には、こども達で「miniにしはら」を決めていく。街にどのような職業が必要なのか、保護者はどのような扱いにするのか、首長・行政をどのようなシステムにするのか、通貨や給料をどうするのかなど、基本的な街の運営・経済活動についてこども達の合意形成を行い決定していく。そのため、街を具体的にどのようにするのかについてはこども達が決めていく様にしていきたいと考えている。町長の選考についても、あらかじめこどもスタッフの中で選挙を行い、そこで当選した町長を一日目の町長とする。

そして、本番当日は、こどもスタッフ以外にも当日参加のこどもも一緒に街づくりに参加し、こどもスタッフが作ったお店以外にも、当日参加するこどもがお店を立ち上げられるようなブースも用意する。また、参加するこどもの年齢については、当日参加のこども達は小学生を対象に募集をする予定である。募集の際に親と一緒に参加することも考えられるが、保護者がどのような形でイベントに携わるのかについては事前学習に参加しているこどもスタッフに決めてもらう。こどもたちの保護者以外での大人として、現時点では大学生当日ボランティアスタッフを募集し、最低限の人数を会場に設置し、こどもたちの安全面などに配慮していく。本番の開催期間に関しては、参考になっているミニ福岡では3日、ミニミュンヘンでは2週間と開催期間に大きな違いがある。「miniにしはら」では、現実的に可能な日数として3日～5日を考えている。ミニ福岡などが3日間の開催であるが、その期間では選挙などを通して首長を選んだ後の首長の政策の実現が難しいと思われる。しかし現実的な規模として3日間の開催とする。当日の細かいシステムについては後ほど記載する。

プログラムの本番の後には、事後学習を行い、プログラムを通しての学びを可視化していけるような取り組みを考えている。現時点では、来年度に向けた政策の提案などを行うことができればよいと考えている。

## 7・事前学習について

事前学習は、2021年10月16日土曜日のアイスブレイクを0回目とし、毎週土曜日に行う予定である。事前学習はこどもの集中力を考慮し、一回につき2時間半程度（45分×2）とする。事前学習の日程はまだ暫定的である。場所は西原町社会福祉協議会隣の西原町いあいんべー家で行い、14時から17時までを予定している。

事前学習の枠組みとして第1回目～第15回目は、人権学習、地域調査、選挙についての学習を行い、まちづくりの基礎的な概念を体験的に学習する。その後、第11回目～第15回目はこどものまちの準備をする。第1回目から第10回目までの各学習は、学生実行委員が授業を作り、実践する。その際、講義的な内容ではなく、体験学習的な内容になるよう留保する。

（日程）

日付	単元	内容	その他
10月16日 （第0回） 済		<p>○アイスブレイク・顔合わせ・「こどものまち」とは何？</p> <p>新しい子ども達のために、元々の子どもスタッフがファシリテーターとして事前学習の様子を説明。 「こどものまち」の説明を子どもを中心にやる？（パワポは大学生が作成） ★8月7日に子ども達に聞いてみる。</p>	<p>こどものまちのイメージをつかむため、実際に行われているこどものまちを事例に説明を行う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>大学生が「こどものまち」を説明するための動画を作成 →告知、子ども達の説明に使用 讃岐大地</p> <p>★全国の子どもの街に画像や動画の使用をお願いする。</p>
10月23日 （第1回）		<p>○西原ビルディング（2時間程度）（西原ビルディング改で済） 西原町の地図の中で模擬的に街をつくる活動</p>	
10月30日 （第2回）	人権	<p>○こどもの人権規約に関する学習</p> <p>○憲章こどもの街のルールを作る。</p>	<p>・子どもの権利条約のカードを使って子どもたちも権利が持っていることに気づかせる。</p>

11月6日 (第3回)		1. 西原町民憲章を下に、西原町こども憲章をつくる →子ども達にどのような街にしたいかについて、キーワードを出してもらおう。キーワードと、子どもの人権規約をもとに憲章をつくっていく。 →憲章・・スローガン、目標 ★行政に相談	
11月13日 (第4回)		2. グループ学習を円滑に進めるためのファシリテーション講座	
11月20日 (第5回)	仕組みづくり	3. mini にしはら仕組みづくり 通貨の名前・デザイン 通貨の価値 働き方について決める。 <u>飲食店を考える。済</u>	
11月27日 (第6回)		4. 西原町こども憲章を下に「mini にしはら」のルール(法律)を作る。 →街の運営のために、公共の福祉として細かいルールを作る？(街での活動を規制するモノ)	
12月4日 (第7回)	経済	○人生ゲームを用いて、税金や給料の感じとる。	・子どもが決める政策
12月11日 (第7回)	経財		
12月18日 (第8回)	選挙	Mini にしはら内での政策提案 →選挙を行う。	
1月8日 (第9回)	こどもの	保護者参加の方法、職業決め、給料、税金、大学生の役割もここで決める。	・看板 ・自分が就きたい職業について(やりたい職業一覧はだした) ・どのようなお店を起業するのか ・どのような街にしていくのか(レイアウト、街の配置)
1月15日 (第10回)	街の	店長決め、ブースの場所、ブースごとのやることを各ブー	



1月22日 (第11回)	準備	スで考える。飲食店に着いては、値段等を飲食店全体で考える。 町長は、mini にしはらのタイムスケジュールを決める。	・その他
1月29日 (第12回)		飾り付け	
2月5日 (第13回)		飾りつけ	
2月10日 (第14回)	事前準備		
2月11日 ～2月13日 (昼まで)	本番		
2月13日	片付け		

※事前学習の日程については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、延期・短縮される場合もある。

5月23日～6月20日の期間は緊急事態宣言が発令されたため、オンラインで事前学習を行う。

#### 8・「mini にしはら」当日の運営方法（大人が決める枠組み）

・こどもスタッフ（事前学習から参加しているこども）は小学校5年～中学校2年生の30名程度、当日参加のこどもは小学生のみで1日100名こどもを募集する。（合計100名のこどもを募集する。）

1日目	こども募集	100名	}	+	こどもスタッフ	30名	→	計330名
2日目	こども募集	100名						
3日目	こども募集	100名						

#### ・当日の流れ

##### ○入場

①外で朝礼を町長が行い、「mini にしはら」についての説明を行う。

②役場で、町民証（お仕事カード）と最初の金額を受け取る。

（お金の量や通貨の単位などはこどもスタッフがきめる）

③ハローワークでお仕事を探す or もらったお金で買い物をする。

##### ○お店のシステム

最初はこどもスタッフが考えたお店のみが開かれており、当日参加のこどもはこども

スタッフのお店で働く。お店側はハローワークで求人募集を行い、こどもたちを雇用する。給料や税金の量などはこどもたち、もしくは町長に決定権がある。当日参加のこどもたちも起業を行うことはできるが、場所代（税金）を支払う必要がある。このようなお店のシステムはミニ福岡を参照に作成。

#### ○町長について

町長は、事前学習と mini にしはら当日それぞれで計二人選ばれる。はじめに、事前学習を行う中で、町長を一人選出し、そのこどもに街の制度、システムを決めてもらう。その後、mini にしはら当日の3日間でもう一度選挙を行う。1日目終了時に、アンケートなどを用いて、参加した市民の意見や声を集め、それをもとに、こどもスタッフの中で立候補者を募る。2日目にはこどもスタッフの中から擁立した立候補者がそれぞれの政策を掲げ、選挙活動と選挙を行う。そして、3日目には新町長が決定し、その政策が街に反映されるという流れを想定している。

\*1日目に参加したこどもも投票ができるように、外に投票箱を設置したいと考えているが、このような内容はこどもたちの判断にゆだねたい。

#### ○保護者について

保護者待機場所を作り、そこからオンラインで mini にしはら内の場所を中継できる余にしたい。また、ほかのこどものまちの実践では、子ども達が旅行会社をつくり、保護者を対象に mini にしはらツアーする事例もあった。このように mini にしはら内で保護者の皆様をどの程度関与させていくのかは子ども達と一緒に考えてもらいたい。

#### ○当日の食事について

当日の食事については、コロナ対策に配慮しながら行っていきたい。（当日のコロナ対策については下記に記載）提供する食事や設備等は南部保健所の規準に従い、提供を行う。どの料理を提供するかについては、提供可能な料理をいくつかあげ、その中から子どもが選択する。

### 9・これからの計画

- 10月～2月：こどもスタッフの事前学習の開始  
当日参加するこどもの呼びかけの開始
- 2月：プログラム本番 「mini にしはら」
- 3月：事後学習

### 10・後援協賛団体（予定）

- ・西原町PTA連合会
- ・CSD コンサルタンツ、西原町PTA連合会、

### 11・主催

学生団体「FORCE」

趣旨に賛同して集まった大学生で協力し、プログラムを運営する。

役割分担：代表→・小渡宇翔 琉球大学教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース  
社会科教育専修三年次 政治学ゼミ所属

経歴：「2018 年度沖縄県海外短期インターンシップ事業インターンシップ生」

「2019 年度 Guts インターンシップ事業インターン生」

「U-35×0607 沖縄県議選プロジェクトメンバー」

「2020 年度沖縄県選挙カレッジカレッジ生」

「2020 年度ドリームプランプレゼンテーション学生実行委員」

・平良海聖 琉球大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース

数学教育専修三年次 多和田ゼミ所属

経歴：「第13代コックさん学校（2019年度）ボランティア生」

→小学校三年、四年生を対象に国語、数学の授業を行うボランティア

「美東中学校土曜塾 ボランティア」

書記→小林礼奈・上間琴乃

広報→大城秋桜・山城麻里音

日程調整→小山穰・渡久山里奈

会計→安里柚香・宮崎美帆

その他→比嘉琉斗・上間千架登・真栄田朝妃・岡本宗大・我那覇真希

## 12・こどもの募集方法

・こどもスタッフ（小学5年～中学3年の30名程度）

西原町の学校や塾、学童、児童館などこどもとかかわりの深い団体に依頼し、こどもにも参加を呼びかけてもらう。媒体としては、ポスターや紙の依頼書を作成し、それを学校や塾・学童の協力の下こどもに周知する。その後、応募フォームを設置し、メールで参加したいこどもを確認する。なお、こどもスタッフに参加するこども達には、教材費等の都合上、1000円徴収する。

・当日参加のこども（小学生のみ、100名×3日間）

当日参加のこどもの募集方法も基本的にはこどもスタッフの呼びかけと同じように行いたいと考えている。当日参加の子どもの募集範囲については、西原町のみ限定せず、近隣の市町村にも募集をかけ、多くのこどもが参加できるようにしたい。

## 12・予算

詳細は最後に記載。

おもな、収入方法はクラウドファンディングと企業による協賛でおこなう。

参加費：事前：1000円（30人）⇒ 30000円

当日：300円（300人）⇒ 90000円

計：120000円

### 13・安全対策

#### ・事前学習の実施方法

事前学習前、事前学習中に緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が場合には、zoomのオンライン学習に切り替えて行う。こども達の中には通信環境が整っていないご家庭も考慮し、オンライン学習が行えない状況も考えられる。その場合には、事前学習の内容を一部省略しながらできる期間にできる内容を行う。

#### ・事前学習当日の対応：

- 来場者全員のマスク着用
- 入館時の検温・手指消毒の確認
- 体調不良者の入場拒否
- 関係者及び子ども達の連絡先の把握
- 定期的な換気、備品の消毒
- 授業の際には、1m以上（2m程度）の感覚を設け、授業を行う。話し合い活動の場合には、  
一定の間隔を設けながら行う。
- 感染拡大予防健康チェックシートを用いて、体調管理を徹底する。
- 感染防止策チェックリストを作成し、その事項の徹底を図る。
- 事前学習参加保護者同意書の提出

#### ・「miniにしはら」当日の実施方法

「miniにしはら」当日は、開催場所と想定している公民館の収容人数の半分程度の規模

で開催する。食品提供などは、屋内では行えないため、外の駐車場の一部を利用し、食品の提供を行う。食品の提供については、衛生責任者の指示の下行う。また、食事スペースも屋外に設け、屋内での飲食は行わないようにする。会場は基本的には、保護者などの大人は入れないため、大学生ボランティアを各ブース、会場内に配置し、安全確認や喚起マスク着用等の徹底を促す。緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が発令された場合、新型コロナウイルスの感染拡大により開催が難しい場合には、延期・中止の措置をとる。

#### ・「miniにしはら」当日の対応：

- 来場者全員のマスク着用

- 入館時の検温・手指消毒の確認
  - 体調不良者の入場拒否
  - 関係者及び子ども達の連絡先の把握
  - 定期的な換気、備品の消毒。（オゾンによる喚起装置を設ける。）
  - 二週間前から、感染拡大予防健康チェックシートを用いて、体調管理を行う。
  - 感染防止策チェックリストを作成し、その事項の徹底を図る。
  - 当日参加の子どもの保護者同意書の提出。
  - 食事スペースや会計スペースなど会話が必要な場所には、シールドを設け飛沫対策を行う。
- ※新型コロナウイルスの対応については、県のガイドラインをもとに、感染拡大予防ガイドラインを作成する。詳細はそれに記載

#### 14・当日ボランティア

当日・事前学習の準備では、大学生ボランティアを30名程度募集して、手伝いをお願いする。ボランティアスタッフは説明会を我々FORCEが開き、ボランティアスタッフを募集する。ボランティアスタッフの配置等は、公民館の館長の場所の許可があり次第決定していく。

顧問・琉球大学教授 島袋純 里井洋一  
 アドバイザー 新田繁睦

#### ◎予算の詳細

・収入（上）支出（下）

項目	件名	単価	数量	小計	備考
参加費	事前学習	1000	30	30,000	
	一般参加	300	300	90,000	
クラウドファンディング(目標80万)				800,000	
寄付				208,000	4月27日現在
協賛金				600,000	
合計				1,728,000	

項目	件名	単価	数量	小計	備考
人件費	ボランティアスタッフ用スタッフカード	110	30個	3,300	
賃借料	公民館使用料	1000	65時間	65,000	
	ホールエアコン費	1500	45時間	67,500	17時～22時消した場合
	事前学習会議室(公民館)	500	75時間	0	ご協力いただいたため
印刷費	事前学習プリント		15日	50,000	
	事前学習ポスター(A3)		40枚	6,500	
	事前学習チラシ(つやあり)		150枚	10,000	
	事前学習チラシ(つやなし)		1500枚	3,960	
	当日用ポスター		80枚	20,000	
	当日用チラシ		6000枚	16,000	
	パンフレット	125	500部	62,500	
	市民章	16	1000部	16,000	
	当日注意書き等印刷料			10,000	
	報告書	130	200部	26,000	
通信費	HP掲載料	550	12か月分	6,600	
コロナ対策費	アルコール	3,000	4ℓ ×1	300	
	仕切り			0	企業より提供
	マスク	1,000		0	企業より提供
	体温計	2,500	3個	5,000	
	霧吹き	300	10個	3,000	
	飛沫防止シート 1メートル50	1,050	20セット	21,000	(アイレント 参考)
	飛沫防止シート 50センチ	500	20セット	10,000	(アイレント 参考)
教具	ペン(8色)	1,300	5箱	6,500	
	ペン(12色)	2,000	5箱	10,000	
	段ボール			0	
	事前学習用名札	110	30個	3,300	
	事前学習用ファイル	110	3枚入り 10セット	1,100	
	画用紙	140	50袋	7,000	
	のり	120	20本	2,400	
	絵具セット	4,500	3個	13,500	
	ハサミ	330	20個	6,600	
衛生品	ゴミ袋	600	10づつ	6,000	
	ガムテープ	200	20個	4,000	
	ティッシュ	300	30個	9,000	
	トイレットペーパー		10袋	4,100	
	ビニールひも	400	4ロール	1,600	
	ぞうきん		20枚	1,500	
	フキン		20枚	1,500	
	キッチンペーパー	200	5袋	10,000	
	洗剤		3個	1,300	
	ハンドソープ		5個	1,200	
	スポンジ		5個	110	
	温度計	500	5個	2,500	
外注品	オリジナルTシャツ	1300	115枚	149,500	
	看板or旗				
機材費	机	910	70台	63,700	(アイレント 参考)
	イス	350	60台	21,000	(アイレント 参考)
	クーラーボックス		10台		借りる
	テント		5台		借りる
調理器具	ガス	15,000	5台	75,000	(アイレント 参考)
	コンロ	2,800	5台	14,000	(アイレント 参考)
	寸胴	3,500	5台	17,500	(アイレント 参考)
	鉄板	12,000	5台	60,000	(アイレント 参考)
	炊飯		3つ		(アイレント 参考)
	おたま等		5セット		(アイレント 参考)
	皿(50枚)	500	20セット	10,000	(アイレント 参考)
	プラスチックスプーン(100本)	400	10セット	4,000	(アイレント 参考)
	食材費	60,000	5ブース	300,000	(アイレント 参考)
食品他ブース材料費	ビーズ等	10,000	10ブース	100,000	
保健関係	ブルーシート	1,000	20枚	20,000	
	ポリタンク	700	15個	10,500	
	シンク	4,200	5台	21,000	
	保健料			100,000	
その他	保険料			100,000	
	予備費			165,930	
	合計			1,728,000	